

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



心不全4つの段階 ステージごとの治療法

前回、心不全の診断についてお話ししました。今回は治療についてです。

心不全には4つのステージがあることを述べました。ステージAは生活習慣病がある段階ですので、その生活習慣病を治療することが必要です。高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満などいづれも心不全を引き起こす病気なので、これらの生活習慣病をしっかり治しましょう。

過剰な塩分摂取、喫煙や多量飲酒は心不全の悪化因子ですので、禁煙、飲酒ではアルコール量40g（日本酒で2合）以下にしてください。減塩は少なくとも8g以下、できれば6gにしてください。

ステージBは、無症状ではあっても疾患は発症していますので、進行しないように生活習慣の改善とともに薬物治療を開始することが必要です。ステージCは心不全症状が出ているので、薬物療法とともに心不全の原因疾患によっては外科手術も組み合わせた集学的

治療が必要です。ステージDは難治性の心不全ですので、集学的治療によって少しでも進行を遅らせる治療が中心となります。

心不全の薬物療法 画期的な新しい薬剤

心不全の薬物療法は最近新しい薬剤が次々と出てきており、治療効果もどんどん向上しています。

2000年以前には利尿剤とジギタリスが一般的に使用されていましたが、2000年以降、β遮断薬（心臓の働きを調整する薬）が効果的であることが分かり、2011年からはACE阻害剤、ARB、アルドステロンブロッカーなど、血管収縮を調整しナトリウムの貯留を抑制する薬剤も導入され、最近では糖尿病の治療にも使用されるSGLT2阻害薬や、ナトリウムの排泄を促進するARNIといった薬剤が開発され、治療効果が大幅に向上しています。

β遮断薬、アルドステロンブロッカー、ARNI、SGLT2阻害薬の4つを、アメリカの漫画に登場する



ヒーローになぞらえて「ファンタスティック4」と呼んでいます。それぐらい画期的な薬だと言うことです。患者さんの病態にあわせてこれらの薬を組み合わせて、心臓に負担をかけないように、しかも働きを維持しながら心臓に長く働いてもらえるように治療を行います。

もちろん前述のように、減塩食や禁煙などの生活習慣の改善は前提条件です。

日野病院では循環器内科の先生と相談しながら、患者さんに最適な治療法を提示しています。心配なことや聞きたいことがあれば、ぜひご相談ください。